

投与開始前

【禁忌チェック】(次の状態の患者さんには投与しないでください)

Table with 2 columns: チェック項目, 禁忌. Lists various medical conditions like renal/liver impairment, heart failure, dehydration, etc.

肝機能障害患者における禁忌、投与継続/中止/休薬の判断の目安

血液検査のほか、患者背景、自他覚症状等も考慮し、投与継続/中止/休薬を判断してください。

参考: 他のトホリン塩酸塩製剤の国内臨床試験における除外基準値

Table with 2 columns: 投与前のAST(GOT)又はALT(GPT), 成人/小児. Shows criteria for discontinuation based on enzyme levels.

投与開始時・投与中

【慎重投与チェック】(次の状態の患者さんには慎重に投与してください)

Table with 2 columns: チェック項目, 慎重投与. Lists conditions like irregular diet, muscle pain, infection, etc.

特に次の状態では、乳酸アシドーシスを起こしやすいため、投与開始前及びその後も投与中は定期的に腎機能(eGFR等)及び肝機能を確認するとともに、患者さんの状態を十分に注意して、投与継続/中止/休薬の判断、投与量の調節を行ってください。

Table with 2 columns: 腎機能, 肝機能, 心肺機能, 患者さんの状態等. Lists specific monitoring points and symptoms like dehydration, infection, etc.

\* 脱水、過度のアルコール摂取等により患者さんの状態が急変することもあるので、注意してください。



改訂 2019年7月作成 MET03006-201907-1



- ① ② ③ (折り方) 1. ①を山折りにしてください。 2. ②→③を山折りにしてください。 3. この表紙面をカルテ等にのり付けしていただくことも可能です。

投与時チェックシート



医療関係者用



製品名

効能・効果

2型糖尿病

ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限ります。

(1) 食事療法・運動療法のみ

(2) 食事療法・運動療法に加えてインスリン

レプソリンを使用

用法・用量

通常、成人にはトホリン塩酸塩として1日500mgより開始し、1日2～3回に分割して食直前又は食後に経口投与します。効果を観察しながら決めます。通常1日750～1500mgとします。なお、患者の状態により適宜増減します。1日最高投与量は250mgまでとします。通常、10歳以上の小児にはトホリン塩酸塩として1日500mgより開始し、1日2～3回に分割して食直前又は食後に経口投与します。維持量は効果を観察しながら決めます。なお、患者の1日500～1500mgとします。なお、患者の状態により適宜増減します。1日最高投与量は200mgまでとします。

②



Table with 2 columns: 推奨糸球体濾過量(eGFR) (mL/min/1.73m²), 1日最高投与量の目安. Shows dosing guidelines for different eGFR levels.

1日最高投与量の目安 中等度の腎機能障害のある患者さんにおける

・投与は、少量より開始していただきます。 1日量を1日2～3回分割投与していただきます。増量していただきます。また、投与にあたっては、こがてきますが、効果を観察しながら徐々に増量して1日最高投与量を下表の目安まで増量する。効果不十分な場合は、トホリン塩酸塩として投与量の調節を検討していただきます。

・投与中は、より頻回に腎機能(eGFR等)を確認するなど慎重に経過を観察し、投与の適否及び投与量の調節を検討していただきます。

・投与は、少量より開始していただきます。 1日量を1日2～3回分割投与していただきます。増量していただきます。また、投与にあたっては、こがてきますが、効果を観察しながら徐々に増量して1日最高投与量を下表の目安まで増量する。効果不十分な場合は、トホリン塩酸塩として投与量の調節を検討していただきます。

腎機能障害患者における用法・用量の目安(用法・用量に関する使用上の注意)